

名古屋大学 ≪大学院工学研究科機械システム工学専攻・研究員≫ 公募要領

1	募 集 件 名	工学研究科 機械システム工学専攻 研究員の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	大学院工学研究科機械システム工学専攻 機械知能学講座	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） ・次世代のモビリティ、特に自動運転、高度運転支援、コネクティッドカー等の分野におけるシミュレータ／シミュレーションの構築と、シミュレータを用いた人の行動の観測とモデル化、システム検証への応用等の分野について、独創的な研究を推進でき、かつシステムの実装にも積極的に取り組んでいただける方。キーワード：制御、信号処理、システム同定、機械学習、深層学習、AI ・その他、東海国立大学機構が指定する業務（変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区不老町 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 研究員・1名	
		[着任時期] 2025年11月1日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	ものづくり技術
		小分類	制御、システム工学
6	勤 務 形 態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（採用日から2026年3月31日まで） 試用期間：なし 契約の更新可能性：有（年次契約の取り決めによる。契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断。当該プロジェクト期間：～2027年3月31日まで） 通算契約期間：最長2027年3月31日まで	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者（着任までに取得見込みの方を含む） ・システム工学、機械学習、交通シミュレーションの分野に精通している者 ・大学院及び学部における教育に熱意と責任感を持ち、協調性をもって教員、学生らと研究業務にあたる人物	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000191.htm	

		・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2025 年 7 月 22 日～2025 年 8 月 26 日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1. 履歴書（写真貼付） 2. 研究業績リスト（原著学術誌論文、国際会議論文、解説・著書、特許、受賞、招待講演等に分類、責任著者にアンダーラインを付すこと。 3. 競争的資金の獲得状況（科研費・助成金・共同研究等、代表・分担と、受給額を明記のこと） 4. これまでの研究概要（図表込みで A4 で 1 ページ） 5. 教育・研究に対する抱負（図表込みで A4 で 1 ページ） 6. 応募者に関するコメントを求め得る方 2 名の連絡先 7. （別添）主要原著学術誌論文（5 編以内）の PDF 原稿 以上の書類を、PDF 形式（可能であれば 1～6 は一つの PDF にまとめること）にて応募期間内（必着）に E メールにて提出ください。 提出先：h_okuda@nuem.nagoya-u.ac.jp 問合せ先：名古屋大学大学院工学研究科 機械システム工学専攻 奥田 裕之 電話：052-789-2769 [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、e-mail または電話で連絡を行う。
11	そ の 他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーイノベーションセンター Web サイト：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロギング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言：https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html